

『乳児期からの人権保育』

～1歳の生活から考える～

2018年4月に改訂・施行された「保育所保育指針」のなかで、改定の一つの柱として乳児保育の充実がとりあげられ、乳児の育ちの重要性が明記されています。人権保育プロジェクトでは、一人ひとりを大切に、生きる力の土台となる愛着・人への信頼感・自尊感情を育むために、乳児保育のなかで何を大切にしていくのかについて、話し合ってきました。

子どもたちは、周りの人とのかかわりのなかで、自分自身を価値ある存在であると認識していきます。特に乳幼児期には、身近な人たちに大切にされていることを実感できる取組をすすめる必要があります。しかしながら、差別や貧困、地域コミュニティからの孤立など、子どもたちを取り巻く課題が多様化するなかで、家族や身近な人に受けとめられている実感をもてずにいる子どもたちがいます。こうした子どもたちの人権を大切にするために、「自分は大切に思われている」「自分のことが好き」「いっしょにあそぶことが楽しい」などと感じられるような、子どもを尊重したかかわりが求められています。

「子どもを尊重した保育」をおこなうことが、「子どもの人権を大切にすること」につながります。子どもの行為の背景にあるたくさんの意味を考えながら、一日の生活の場面で、どのような言葉がけや工夫が「子どもを尊重する保育」につながるのか、1歳の子どもの具体的な姿から一緒に考えていきましょう。

園・所での1日の生活をふり返ってみると…



「子どもにとってもっともよいこと」とは？

(子どもの権利条約第三条より)

- 👑 認められること。
 - 👑 たくさんの愛情を受けること。
 - 👑 心地よく過ごせること。
 - 👑 安心して自分の思いを出せること。
- それから……。

「子どもの気もちに共感を」

泣いて登園してきたよ… どうしたのかな？



泣いていることには、さまざまな理由があります。

? こんなとらえ方をしていませんか？

- また朝ごはん食べてないのかなあ…
- 今日また泣いてる…よく泣くなあ…
- おうちの人にゆっくりかかわってもらってないから、不安定なのかな…



「また」「どうせ」「今日も」など、子どもや保護者に対する「決めつけた見方」がまだまだあるのでは…？

大切にしたいこと
かかわり

- 泣いている子どもの気もちに共感していますか。
- 保護者が安心して子どもを預けられるような関係づくりを、日ごろから心がけていますか。
- 保育者間で、子どもの家での様子等に対する共通理解をしていますか。
- 子どもや保護者のあるがままの姿を受け入れ、対応しようとしていますか。

1歳児は、まだ言葉では自分の気もちを表現しにくく、私たち保育者がその気もちを汲んで接することが重要であることは言うまでもありません。

泣いている子どもに優しく声をかけたり抱きしめたりして気もちに寄り添っていくことが、子どもの人権を大切に作る保育につながっていくのではないのでしょうか？

保育の土台としての人権

平成30年4月に、新しい「保育所保育指針」が施行されました。この新しい「保育所保育指針」では、乳児保育と1歳以上3歳未満児の保育についての記載が充実しています。また、保育所が幼児教育機関として位置づけられたことも大きな特徴の一つです。0歳児から3歳未満児の保育の充実と、保育所が幼児教育機関として位置づけられたことは無関係ではありません。0歳児から3歳未満児の保育は、教育の土台となるものです。

0歳児から2歳児の間に形成される保護者や保育者との愛着関係、基本的信頼感、他者との深いかかわりの欲求といったものが、土台になっていきます。ここに、人権という視点に立つことの重要性があります。愛着関係や信頼感、他者へのかかわりの欲求は、その子の人権が保障されるかかわりにおいてのみ生じるからです。

0歳児から3歳未満児の人権というと難しく聞こえるかもしれませんが。今回のプロジェクトの取組を通して、具体的な場面から考えてみてください。

人権保育プロジェクト アドバイザー 鈴鹿大学短期大学部 長澤 貴



このパンフレットは、公益社団法人 三重県人権教育研究協議会のホームページからダウンロードできます。

<http://www.sandokyo.jp>

- ▶2006年度／「節分・雛祭りを人権保育の視点で考える(中間報告)」
- ▶2007年度／「節分・雛祭りを人権保育の視点で考える(最終報告)」
- ▶2008年度／「いじめ対応の根っこにあるものは？」
- ▶2009年度／「多文化共生から人権保育を考える①」
- ▶2010年度／「多文化共生から人権保育を考える②」
- ▶2011年度／「多文化共生から人権保育を考える③」
- ▶2012年度／「多文化共生から人権保育を考える④」
- ▶2013年度／「自尊感情を育むには…」
- ▶2014年度／「自尊感情を育むには…②」
- ▶2015年度／「あそぼう！つながろう！～心をつなぎ合う意図的なふれあい活動をどのように展開するか～」
- ▶2016年度／『ともに育ち合う保育～「障がい児共生保育」の視点から考える～』
- ▶2017年度／『ともに育ち合う保育～保護者とともに～』
- ▶2018年度／「乳児期からの人権保育～1歳の生活から考える～」